国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Kanto Regional Development Bureau

神奈川県に新たな風景街道が誕生

「東海道（とうかいどう） 風景街道（ふうけいかいどう）」の取り組みがはじまりました！

記者発表資料

横浜市内の旧東海道を活動範囲とした『東海道 風景街道』が、日本風景街道として平成２０年１月１０日に登録されました。

風景街道の名称：東海道 風景街道　（登録番号：関東-第１６号）

風景街道の範囲：国道１号を中心とした旧東海道のうち、横浜市内の宿場町（神奈川区、保土ヶ谷区、戸塚区）が対象

※今後は広報活動を通じ、活動の範囲を拡大していく予定です。

活動概要・目的：宿駅伝馬制度の制定から４００年以上が過ぎた東海道の歴史資源や、地域の文化資源を活かし、各宿場町において取り組まれてきた地元の方々の経験･体験･ノウハウにより地域活性化を促進していきます。
また、地域の方々の「まちを思う気持ち」を育み、活動の永続的な発展を目指します。　【資料－１】

風景街道パートナーシップを、地域の活動団体（神奈川宿遊学セミナー、保土ヶ谷四〇〇倶楽部、とつかファン倶楽部など）や、道路管理者（各区の土木事務所、横浜国道事務所）など１９団体（個人含む、H20.1.10 現在）により構成し、日本風景街道の取り組みを協働により推進していきます。　【資料－２】

「日本風景街道」は、道を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした美しい国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としており、関東ブロックでは現在１６ルートが登録されています。
日本風景街道にかかわる情報は、以下のインターネットホームページをご参照下さい。
URL：http://www.ktr.mlit.go.jp/kanto-fukei/

平成２０年１月１８日
国土交通省横浜国道事務所

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

問　合　せ　先
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 計画課　土肥（どひ） 学（まなぶ）　TEL 045-316-3536(直通)

東海道　風景街道

資料－１

■ 活動の範囲

● 国道１号を中心とした旧東海道のうち、宿場の置かれていた横浜市内の神奈川区、保土ヶ谷区、戸塚区の３区とし、国道、県道、市道と複数の路線にまたがる延長約２２ｋｍを範囲としています。

※赤線で対象範囲を示しています。　神奈川区子安通～戸塚区影取町

※東海道の情報は「東海道ルネッサンス」http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/tokaido/index.htm でご覧いただけます。

■ 地域の特徴 と 活動の目的

● 徳川家康が西暦１６０１年、東海道に宿駅伝馬制度を定め、本格的な街道の整備を始めてから、４００年以上の歴史を刻む東海道。その沿道に存ずる一里塚、本陣跡、神社仏閣など多数の歴史的施設など、道路を中心として広がる空間的な資源を活用し、地域を活性化していきます。

● そこで長年に渡り“歴史を活かしたまちづくり”活動（歴史施設や町並みの整備･再創造、講演、案内ガイド、ウォークイベントなど）に取り組んできた“人材”そのものを大切な地域資源としてとらえ、経験・体験・ノウハウを活かした地域密着の活動により、地域の方々がそれぞれに持つ、**心の中に広がる風景**を資源として育てていきます。

地域団体によるイベントの様子

地域団体による市民講座の様子

一里塚・松並木の復元

品濃一里塚

■ 活動のおもな内容

● 東海道を歩く人のための休憩施設を通じて地域活性化を進めるとともに、将来は東海道全域に“歩く旅人のため”の活動を広げることにより、「まちを思う気持ち」をそれぞれの地域に育むことで、活動の永続的な発展を目指していきます。

● 私たち「東海道 風景街道」パートナーシップは、地域と行政とが一体となり、目的に向かって少しずつですが着実に事業を展開していきます。また、地域に根付くことで、永続的な活動となるよう前進します。

歩く旅人のための事業

●案内マップやパンフレットを作り、より気軽な、楽しい東海道を提供。
●地域の歴史、名所、史跡の案内サインやルートサインの設置。
●歩く旅人が気軽に休憩できるスポット「たび人の驛」（仮称）を認定。
　・観光ガイドとの連携により、東海道など地域の案内
　・地域のインフォメーション機能
　・東海道名物などの物販
などにより、地域内交流、地域間交流、旅人と地域の人々との**交流の場をつくります！**

東海道よこはま三宿ブランド開発

●東海道名物の復刻や新名物を開発するなど、ブランドとして認定。
●地元の名店名品・職人を紹介（実演など）。
などにより、パートナーシップの**自立と活気を促進していきます！**

イベントなど

●東海道名物の体験教室やコンテストの開催を通じて、幅広い層にＰＲ。
●清掃、草取りなどのボランティア活動を積極的に行うことによる地域意識の醸成。
などにより、**地域全体の“心の育み”を醸成していきます！**

■ パートナーシップの構成

東海道（とうかいどう）　風景街道（ふうけいかいどう）　（よこはま三宿（さんしゅく））

横浜市
- 神奈川区総務部区政推進課
- 保土ヶ谷区総務部区政推進課
- 戸塚区総務部区政推進課
- 都市整備局都市デザイン室

＋

- 神奈川区商店街連合会
- 戸塚区商店街連合会
- 神奈川宿遊学セミナー
- 保土ヶ谷宿四〇〇倶楽部
- とつかファン倶楽部
- (資)笑う門
- 保土ヶ谷ガイドボランティアの会
- など

＋

【道路の管理者】
- 国土交通省横浜国道事務所
- 横浜市
  - 神奈川土木事務所
  - 保土ヶ谷土木事務所
  - 戸塚土木事務所

※平成２０年１月１０日現在、１９団体･個人　　個人構成員についてはお名前を省略させていただいております。
また、広報活動を通じ、逐次パートナーシップの構成メンバーを拡大しております。

資料－2

『東海道 風景街道』の日本風景街道の登録を受け、関係者から今後の抱負・感想、東海道に対する思いなどコメントをいただきました。

神奈川宿遊学セミナー（かながわしゅくゆうがく）

代表　湯川 厚子　様

東海道を軸に市民活動を行っていますが、今回の登録認定で「よこはま三宿」の連携も強くなり、益々、活発な活動になると願っています。

東海道を歩く人々をお迎えする私達は、住んでいる「まち」を想う気持ちや「まちづくり」への想いを育む活動に拡がり「みちづくり」に活動が繋がります。風景街道は「心の風景街道」だと、この登録認定で再認識をしました。

保土ヶ谷宿四〇〇倶楽部（ほどがやしゅくよんひゃくくらぶ）

代表　村田 啓輔　様

近年、街道を歩く人、沿道でのイベントも増加しています。

まちを訪れる人が、ホッ！とするよう満足していただける道づくりを目指し、私たちは長年「歴史を生かしたまちづくり」を行政と協働で取り組んでおり、風景街道も、その一環とし活動していきます。また、地域のみんなの「旅人を迎える心」が醸成され、東海道各宿場にも広げて行きたいと思っています。

とつかファン倶楽部（くらぶ）

代表　片山 大蔵　様

戸塚は、東海道の宿場町として歴史ある街だが、区民には今まで「宿場町」としての認知活動が消極的であった為、認識が少なく残念に思っていた。

今回の「風景街道」認定により戸塚宿として「宿場」という街の魅力の再発見・街の財産の発掘・周知を行い、宿場本来の役割である「訪れる人への御もてなし」を果たしていきたい。

横浜市 道路局

局長　山下 博　様

今回、新たに「日本風景街道」として東海道３宿場が登録されたことは、道を大切に思う地域の皆様の気持ちが実を結んだ結果と、たいへん嬉しく思っております。横浜市では市民の皆様との協働による「ハマロード・サポーター」が概ね一万人に達しており、今後も地域やサポーターの皆様と「東海道 風景街道」をはじめ、横浜の道を守る活動に取り組んでまいります。

国土交通省 横浜国道事務所

所長　安田 泰二

横浜国道事務所の管内からは初の「日本風景街道」登録となり、我々もパートナーシップに参加しながら、地域の皆様方と連携していくことで、地域活性化の一助を担えるよう取り組んでいく所存です。

地域の方々から今まで以上に親しみを持っていただける“みち”や“まちなみ”を形成していくとともに、人と人との交流が活発になることで、よりよい地域の発展となる取り組みにしていきたいと考えております。